

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'98

11

月号【1日発行】

かわさき市民アカデミー五周年

海老澤敏・国立音大学園長の記念講演



いまを話す

幼児教育界出身の初の中教審専門委員
佐保田 亘正さん
なにかが変、日本社会!? 大人も子供も
尊敬、感謝 知らないよ

Stage Up 11 月号もくじ/1998年

●ほんねインタビュー いまを話す 4

幼児教育界出身の初の中教審専門委員

佐保田 亘正さん

なにかが変、日本社会!? 大人も子供も
尊敬、感謝 知らないよ

◆かわさき市民アカデミー五周年記念講演 9

「モーツァルトに貢献 川崎」 海老澤国立音大園長

■はりきつてます グループ紹介 10

視覚障害者に「声のたより」を送る

水車の会(川崎区)

ハーモニーつくる楽しさ表現

多摩フラウエンコール女声合唱団

●学習・文化情報 12

◆生活ホーム支援チャリティーコンサート 15

□会員募集/ミニニュース/編集後記 裏表紙

◇表紙絵……尻手黒川線沿いの並木 清水幹子さん

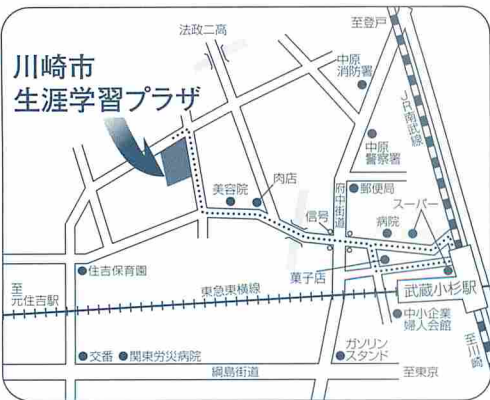
(小誌は再生紙を使用しています)

お知らせ 1999年新春号(1、2月号併号)の発行日は
1月8日になります



新たな生涯学習の拠点誕生!!
小杉に「川崎生涯学習プラザ」

「貸館受け付け中」
「川崎市生涯学習プラザ」が、このほど中原区に新設されました。市民のみならず、生涯学習の拠点として、文化・学習・スポーツなど自主活動に広くご利用下さい。同プラザでは会議室、多目的ルームなどの貸館を行っています。また、当事業団本部、かわさき市民アカデミー事務局も同所に移転しました(新百舎21ビルの貸館はこれまでどおり行います)。



●貸館使用開始 12月1日(火)から
●開館時間 11(火)～21(日) 9時～17時 年中無休
(年末年始・点検日を除く)
●申し込み方法 11会議室・料理室・和室は使用日の3カ月前より3日前、9時30分から先着順▽多目的ルーム・フィットネスルームは使用日の3カ月前の月初めの平日9時30分に抽選。受け付けは平日のみ9時～17時
●交通 11東急東横線・JR南武線 武蔵小杉駅徒歩12分
●住所 11〒211-0064 中原区今井南町5-14の1
●問い合わせ・申し込み 電話 733-5560 (代) FAX 739-0085

※使用料金、時間区分、付属設備の使用、申し込み方法の詳細はお問い合わせ下さい

かわさき市民アカデミー5周年記念式典

「市民社会に貢献する学校」

市民270人を前に篠原学長代行

「かわさき市民アカデミー」設立五周年の記念式典が九月中旬、新百合21ホールであり、市民やアカデミー関係者ら二百七十人が参加した。式典で、世界的なモーツァルト研究者として知られる海老澤敏・国立音楽大学学園長が「日本のモーツァルト・世界のモーツァルト」と題し講演した。この中で海老澤さんは、モ



ーツァルトの数々のエピソードを紹介し、聴衆を楽しませ、実像を浮き彫りにし深い感動を与えた(九ページに関連記事)。

これに先立ち、主催者を代表してあいさつした篠原一・学長代行(東京大学名誉教授)は「産業社会が成熟し国民国家の垣根が低くなるうとされているとき、いまもっとも求められているのは、いきいきとした市民社会であり、それを作り出すのは自

己実現をめざし、差異を尊ぶ市民である。五年前、このような市民と市民社会のために作られたのが「かわさき市民アカデミー」だ」と話した。また、アカデミー出身者が地域社会で貢献していることについて「大変うれしい」と率直に喜びを表した。さらに学長代行はアカデミーのよ

めにも、市民アカデミーをより活力あるものにしていきたい」と述べた。高橋清・市長代理の小机實・教育長は「会員のみなさんは、自ら計画を立て、時間をかけて自分のテーマを追求し実践して、新しい自分を再発見してきました。このことは、市民アカデミーのすばらしい特徴でもあります。会員は、いろんな分野で活躍した人々で、今後とも世代を越えて交流し、学びあい、高めあう生涯学習機関としてますます発展してほしい」とお祝いのことばを述べた。

9ページに記念講演

市民アカデミー学園祭

学習の成果生かし多彩な催し

アカデミー会員やOBが企画した「学園祭」が九月中旬、新百合21ビルなどであった。学習の成果を生かした発表や展示、シンポジウム、フィールドワークなど多彩な催し。

するのかわどこに相談すれば情報を得られるのか」「制度を理解し活用するための学習会を開いてほしい」など、参加者から活発に質問や意見が出された。

シンポジウム「二十一世紀・介護の社会化」▽朗読会・小宇宙を表現するをのぞいてみた。

朗読会は「ことばと映像コース」の会員企画。十五人が、祭り囃子(ばやし)にのって、豆絞りのち巻き姿で登場。

シンポジウムは「川崎学Ⅱ」OBの会が企画。「介護保険制度が施行されると自らサービスが選べるというが、自分で判断できない人はどう

北原白秋の「お祭り」、歌舞伎十八番の「ういらうりのせりふ」を群読。照明やBGM、衣装にも趣向を凝らしていた。

家庭、地域 相互抑制力失う

育ち、絆、使命もぼやけ

人間らしい 家庭の 教師の

そうした中で育ちましたから、近所の人からもしつけられたのです。地域社会が成り立っていたのです。いまは「私はわたし、あなたはあなた」ですか。



佐保田さん 職場でもそうです。かつては中堅社員が、仕事への使命感とか気概を持っていて、職場で若い人を鍛えて育てた。いま、中堅社員が新入社員にビシビシ言うのと、まず、恨まれる。中にはめげて会社を辞める人もかなりいます。——ちょっと悲しいですね。

佐保田さん 人間というのは、コミュニケーションの中で育つのです。人間関係の基盤が揺らいで

いるといえます。

——戦後、日本人は必死に働いて国を復興させ、一九七〇年代には経済大国になりましたが、人としての大事な部分をなくしたと。

佐保田さん 都市化と核家族化がすすむことで、地域社会のよさが消えたことは厳然たる事実です。戦前の地域社会には封建的な部分もありましたが、育ちあう力やお互いを抑制する力がありました。いまの社会状況が利己主義に走りやすいことは確かです。

——「欧米に追いつき、追い越せ」の経済優先社会のなかで、地域社会が疎んじられた代償？

佐保田さん もう一つは教育です。学校で日本の伝統的文化や価値観の多くを否定するような教育をしてきたことは否めません。また、平和と民主主義の大切さを教えるのは当然ですが、児童・生徒がその本質を理解し、生活の中でその知識が生かせる教育だったか

どうかです。親や高齢者、教師を尊敬し社会に感謝する気持ちをもつことの大切さを教えることや、世の中には理屈を超えた存在があることを軽視してきました。その結果、畏敬の念のない人間が数多くつくりだされたのです。

——おはようございます、こんにちは、いただきますの「あいさつのない社会」になったと。

佐保田さん 教師は聖職とはいえませんが、子供を育てることにかかわる人は、単なる労働者ではないと思うんです。ある時期、教職の現場が労働者の考え方だけで動き、「人間らしい育ちに必要なた教育とは」「家族の絆をきちんとするのに必要な教育とは」「先生の資質とは」を論議することさえタブーの雰囲気でした。そのころ、学校現場で心の問題を取り組もうとしたとき、それに反対する



一大勢力があったのは事実です。——そのことが、社会の抑制力の低下へと……。

佐保田さん 人間らしい育ち、家族の絆、教師の使命がぼやけ、子供の心の変化につながった。それへの厳粛な反省がないと、教育の再生はないと思います。

——「いまの受験制度が、荒れる子供たちの根源」との指摘も。佐保田さん そう思いますよ。

それぞれの青少年には、多種多様な能力とか存在意義があるのに一つの考え、一つの物差しで、人間を輪切りにしていくのが受難。ス

佐保田 亘正 さん

さほだ・のぶまさ=1937年、川崎市多摩区生区生まれ。60年、明治大卒業。読売新聞社に入社し、政治、経済、社会、教育、司法の各担当記者を歴任。その間、私立幼稚園の教育実践を取材とし退職し幼稚園教育に専念。現在、県私立幼稚園連合会長、総理府男女共同参画社会推進会議委員、中教審専門委員、教育課程審議会委員、市青幼年問題協議会委員など。7月まで全日摩区管北浦で妻と末っ子の男子、86歳の母と4人暮らし。

必ず改善、いまの受験制度

多様な能力生かす社会へ



スポーツにも相撲、野球、サッカーなどの種目があるのに、全部相撲の基準で計られたのでは。

——具体的にどうすればいいと。
佐保田さん その頂点にある大
学受験のやり方をまず変える。こ
こに手をつけない限り……。

——わたし、受験戦争に勝った

人が優遇される社会の在り方を変
えるべきと。中教審(中央教育審
議会)のお考えは。

佐保田さん 大学受験の教科試
験が、学習指導要領から逸脱しな
いよう指導を強めています。難問、
奇問が追放されれば、受験生の大
半が満点に近い点数を取る。合否

半が満点に近い点数を取る。合否

はどうするか？運動や芸術、人柄、
特技、ボランティアの経験などを
評価して、総合的視点で合否を決
めるのです。まだ、そうした受験
方法を実施している大学は少ない
のですが、国際社会に通用する人
材の育成が求められていますので、
この流れは加速するでしょう。

——少し希望が持てるお話です。
でも、いまの学校は学ぶことの楽
しさからは縁遠い。小中学校の児
童・生徒の不登校や高校退学者が
年々増加していますね。

佐保田さん それはね、無駄な
勉強が多いからです。世の中に出
て役立たないことを教えている。
数学や英語の専門家を中学で育
てるわけではないのに。指導要領が
子供に対する最大のいじめであり、
落ちこぼれを作っているんです。

——その通りだと思います。

佐保田さん 教科の内容をうん
と減らし、シンプルにして時間を
かけて教える。そうすると、学習
内容が理解できますから、おもし
ろくなって、意欲的になりますか
ら、学校が楽しくなる。

——そううまくいきますか。

佐保田さん ぼくは、教育課程
審議会委員として「勉強の内容を

減らしても、日本国民のレベルが
下がるわけではない。むしろ上が
る」といつてきました。落ちこぼ
れて零点だった子供が六十点を取
れるようになれば、全体の力がア
ップすることになるからです。

——素晴らしいプラス思考。

佐保田さん 最近では理解してく
ださる方が多くなって、幼・小・
中・高、全部の教育課程を作り直
すことになりました。三年後の学
習指導要領で、小学校の算数から
分数をなくします。だいたい、八
十分の三七十二分の一をかけ算
したらどうなるかなどは、日々の
暮らしとは無関係、無意味です。

——おっしゃる通り(拍手)。

佐保田さん 三分の一と二分の
一はどっちが大きいかは、お菓子
を分けるとき、子供たちにとって
切実な問題ですが。

伊藤 眞弓 さん

いとう・まゆみ=米国G
rand View College
卒。声優・北川
智繪主宰「話芸写」の「語
り」と上演音楽を担当。英事
語教室を主宰し、声の仕事
や難民支援のチャリティー
語りも。川崎に住んで28
年。自宅は中原区新丸子。

ほんねインタビュー



分っかりやすい!

佐保田さん 人間は暮らしが基本で、教科は生活の拡充のためにあるのです。中教審は、偏った知育より体験学習や自然とのふれ合いなどの体験を重視し「小・中学生の落ちこぼれは作らない」を目指しています。できる児童・生徒は独学でやるとか、いろいろな方法が選択できます。一年早く卒業して「飛び入学」で大学生になって結構です。千葉大の飛び入学制度は、そういう考え方からです。一歩ずつやる以外に現状からの脱却はないのです。数年後に教育現場が変わり、方向性がはっきりしてくるはずですよ。

——ところで、多くの子供たちが「みんながそうだから」との思考・行動パターンになっています。その子供たちが大人になったとき「知識はあっても、生活の知恵は

ない」ことにならないか心配です。

佐保田さん この問題は、親子や兄弟、夫婦がもつと向き合うことが解決の第一歩なのです。人生は「マニュアル通りにやれば、うまくいく」ほど甘くないんです。子供のころに、自分の頭で考える習慣を身に付けることが大切です。が、いまの親の中に受験戦争の弊害を受けた人もいます。

——そのことが、家庭内暴力などの問題の解決を遅らせていると。

マニユアル 自ら考える習慣が大切

から、常識的な社会に戻るの何十年もかかるでしょう。今は、何が本当に大事なのかを見極め考え直すときです。理論より実践です。どういう大学を出たかより、何ができるか、どういう人間かが試される時代が確実に近づいています。

——子供たちの無気力・無関心・無感動の「三無主義」が一段と進み、友達が援助交際(売春)しても「人のこと」と関心を示さない生徒が増えているようですが。

まともな社会に戻りますか。

佐保田さん 制度を改善して、学校現場と父母がその気になっても、五十年間でこうなったのです



佐保田さん 人間は、どういうときに大きく伸びるのか。好きな人と一緒にのとき▽友達と知識を共有したとき▽感動を共有したとき

▽新しい発見をしたとき▽自分が認められたとき——です。素直になる▽喜ぶ▽感動することで成長するのが人間です。このほど、国内外の小学五年生にアンケート調査をしました。その設問は、自分は勇気がある▽親切である▽正直である▽人気がある▽勉強ができる▽よく働く▽評判がいい。外国の小学生の五六・七%は「みんなあてはまる」「どれかに当てはまる」と答えています。が、日本の小学生の九〇%弱が「どれにも当てはまらない」と答えているのです。

——えっ、自分に自信がない。佐保田さん ええ。その際、親には「自分の子供についての満足度調査」をしました。「子供の成長に満足している」日本の親は三六・三%。アメリカ、イギリスの親は八〇%強でした。日本の親の多くは「自分の子供が、自分の思い通りに育っていない」「よその子に比べ出来がいいか」という、くだらない物差しで自分の子供を見ているのです。幼児のころは、「自分の最大の味方は親」と思い、その親に認められて、誇りや自信を持って育っていくのです。——それが欠けると……。



佐保田さん その親に「お前の育ち方が不満だ」と言われたら、安住の場がなくなります。親がキレル状況をつくっているのです。ぼくはいつも「子供にとっても大人にとっても、家庭が心の安全基地です」といっています。ここが揺らぐとすべてが危うい。家庭を安心して過ごせる状況にする。家族の対話、コミュニケーションに心掛け、面倒なことに向き合う姿勢が必要です。両親は子供のことに、妻は夫に、夫は妻に関心を持つ。それが「家庭は安全基地」の要件です。それと「しつけには普通のことをすればよい。返事、あいさつを忘れないように」というんです。このことを家族全員が守るだけで安全基地は保たれます。

——まず、そこを意識する……。

佐保田さん 世の中には、いろいろな人がいて得手、不得手もそれぞれ違う。「よその子と同じように」とか「その道のトップに」と、子供の意に反したプレッシャーを与えない。それに、勉強もスポーツも不得手という子供もいっぱいいます。父母がいつも「大事な子供なのだ、大事な家族なのだ」という意識をもてるからです。家族というのは、それぞれの人間がいるだけで価値があるのです。父母が、つまらない物差しで一喜一憂



するのは恥ずかしいことです。

——「家族というのは、いるだけで価値がある」。心にズシンときました。最近、心の教育ということが強調されていますが、家庭で自然にするものではないですか。

佐保田さん 「心の教育」というのは造語で「心が育つ教育的環境の在り方」なのです。僕は、アメリカ人やフランス人に「心の教育」という言葉があるか聞きました



たが、びつたりした言葉がないのです。心は、周りの大人の言動を染み込ませて、育っていくのです。「人間性の根幹をつくるのは家庭」が万国共通の考えです。

——子供と長く接している母親の影響も大きいでしょうね。

佐保田さん 何かあると「お母さんのせい」と攻めるのは間違いです。お母さんが、子育てや子供の心を豊かにする機能を発揮するには、お父さんの支えが必要です。お母さんが一番信頼できる、助けしてくれるお父さんでなくては。それと、最初から一人前の親はいないのです。親をサポートする場、

親同士の情報交換の場として、幼稚園が働きかけをもっと十分にすればいいと思います。

——子供たちにとって、初めての集団生活の場が幼稚園ですので、世間一般が考えている以上に、幼稚園の役割は大きい気がします。

佐保田さん 人事院の給与法では、高校が一番上で幼稚園が一番下なんです。これは差別ではないかと。小、中、高の教職の免許をとるときは、三週間の教育実習ですが、幼稚園教諭の資格を取るための教育実習はもっと大変な時間をかけているのです。

——子供を教育する場合は、家庭・学校・地域などたくさんありますが、いま、大人がなにを学ぶべきかを具体的に話をいただき、ありがとうございます。

題字は高橋清・川崎市長
構成／富樫 恭子
文責／田中 園
カメラ／山本 綾子

家族はいるだけで価値がある

父母はつまらぬ物差し捨て

「モーツァルトに貢献 川崎」

記念講演で海老澤国立音大学園長



「かわさき市民アカデミー」5周年記念式典で、海老澤敏・国立音楽大学学園長の「日本のモーツァルト・世界のモーツァルト」と題する記念講演があった。映像と音楽を織り交ぜ、モーツァルトがなぜ、世界の音楽ファンからカリスマ的に敬愛されているか、その魅力を余すことなく話した（関連記事3ページ）。

講演の冒頭で海老澤さんは、モーツァルトの生誕地ザルツブルクと川崎市が1991年、友好都市の縁結びをした意義にふれた。モーツァルトは、よく旅をしたが「2年前、18世紀にモーツァルトが住んでいた家を修復し再現した際、川崎市から彼の旅路を示す案内板を寄付していた。モーツァルトの住家を訪れる世界中の人から大変喜ばれている」と川崎

喜ばれる寄贈の案内板 ザルツブルクの観光客に

市の貢献を評価した。

その後、日本で最初にモーツァルトの曲が演奏されたのは1865年（慶応元年）で「横浜でイギリスの軍楽隊が歌劇『魔笛』の序曲を演奏したという記述がある」と語った。明治初期、西洋音楽が導入され1884年、小学唱歌集に「まことは人の道ぞかし」が紹介されたが「この曲の原曲は歌劇『魔笛』の中で、パパゲーノが『僕がほしいのはかわいい娘っ子女房か』と歌っている陽気な曲で、それがなぜか日本では『まことは人の道ぞかし』と修身風の歌詞が添えられ、荘重なテンポで歌われた」とユーモアを交え話した。

モーツァルトの歌曲に「春への憧れ」がある。さわやかなメロディーのアレグロ（快速なテンポ）の曲。オーヴァーベックの詩は、冬が長いヨーロッパで、5月の春が待ちきれず、じりじりする少年の気持ちを表わしている。日本では第二次世界大戦後、6年生の音楽教科書に収められ広く歌われた。海老澤さんは「その訳詩は『楽しや5月 草木はもえ 小川の岸にすみれにおう…』。これは『春への憧れ』ではなく日本の春の満足感。アンダンテ（歩くような速さ）で歌われている。しかし、モーツァルトのメロディーは日本の5月にも不思議とふさわしく響く」と解説。聴衆の中には、うなずきながらメモをする人もいた。

さらに海老澤さんは、日本人にとって「モーツァルトといえば、この曲というのがある」と話し、「アイネ クライネ ナハト ムジーク」を挙げた。モーツァルトとの出会いを語った本「私のモーツァルト」で、高名な作曲家を含む多くの人々が「『アイネ…』によって目を、耳を開かされた」ほど。

映画「アマデウス」では、モーツァルトの小品な趣味と新奇な姿が描かれ世界に衝撃を与えた。「この映画を観た人から『あれは実像?』とよく聞かれた。彼の手紙を読むとそういう面もうかがえる。おどけたところと真面目な面があり、父との関係にも悩んでいた。楽聖・モーツァルトが私たちと同じように深く悩んでいたようだ」と、モーツァルトへの全面的賛美や全面否定を戒めた。

最後に、生者が死者を悼む葬送の曲「レクイエム」について「モーツァルトは作曲の途中で死んだが、弟子のジュースマイヤーが完成させた。死者と生者の絶妙な関係がレクイエムに表れている」とし、この曲をめぐる、さまざまな論争があるが「レクイエムはモーツァルトの死生観ばかりでなく、18世紀後半の人々の死生観を語るにふさわしい曲である」と、レクイエムの今日的意義を述べた。

はりきってます グループ紹介



情報をテープに 吹き込み34年...

視覚障害者に「声のたより」を送る

水車の会（川崎区）

「こんにちは。お元気ですか」（42）ら五十人。毎週火曜日の夜、とテープで視覚障害者に語りかけ、川崎区の盲人図書館に集まり、さる「声のたより」を作っているの。さまざまな情報をテープに吹き込み、は「水車の会」の杉友三千代代表が録音したカセットを市内外のデ

テープ読者、百二十人に三十四年間送り続けている。

市政だよりをテープにする「声の川崎市だより」や九十分テープに小説やエッセイなどを部分朗読し内容紹介をする「音のしおり」、さらには放送劇やお勧め本、店や施設の案内などを盛り込んだ「えつらん室」の三本のテープは、身近な情報の入手が困難な視覚障害者にとっても喜ばれている。

この日は、市政だよりやお勧め本、放送劇などの収録。会員たちは三三五五分かれて、打ち合わせや原稿読みに余念がない。

録音室から「こんにちは『私のお勧めブック』です」と案内役の小山祥子さん（54）の落ち着いた声が聞こえる。「私はロバート・フルガムが書いた『人生に必要な知恵はすべて幼稚園の砂場で学んだ』というエッセイを紹介します」

と矢藤栄子さん（33）が明るく話しかける。ヘッドホンをつけた石井幸江さん（30）が音声機器のつまみを動かし音を調整する。「もう少しマイクに近づいて。OK。」

では録音します」の声に、張りつめた空気が部屋中に流れる。「横十分後ストップがかかる。」「横

を向かないで話して。マイクから声が外れるよ」と注意が飛ぶ。聞く人へのこまやかな気配りである。「はい、『人間として』のところからどうぞ」の声に、気を取り直しマイクに向かう会員。

同会の誕生は昭和三十九年四月。青年赤十字奉仕団川崎分団が開いた録音図書製作講習会の受講者で発足した。月一回開かれる勉強会は、製作したテープを聞き率直に意見を交わす新人会員の朗読技術を高める場でもある。

井原邦彦さん（65）は「朗読は声を出すので体にいいと思います、二年前に入会しました。みなさんからの刺激を受けています」。

門田則子さん（49）は「テープ読者と交流したとき『いつも楽しみにしているよ』と声を掛けられとてもうれしかった」。

杉友代表は「会員不足で大変だった時期もありました。今の活動を維持し多くの情報を送りたい」。連絡は毎週火曜十八時半から二十時半に☎（211）3187水車の会、FAXは（246）5590盲人図書館気付で。

文／小誌・菅原純子
カメラ／小誌・井上徳子

仲間と楽しむ

学び

活動する

生かす

はりきってます グループ紹介

ハーモニーツくる楽しさ表現

多摩フラウエンコール女声合唱団

清らかな澄んだうたごえ。情感豊かに表現する旋律と詩。毎週木曜日の午前、JR登戸駅近くの住宅街のなかにあるイノウエ・ホールで「多摩フラウエンコール女声合唱団」の丹野君代代表(57)ら二十二人の会員は「心に響くハーモニーを」と楽しく練習に励む。

この日は「ほうき星には魔女がいて」「山中幻想」「マリン・スノー幻想」を練習した。「ほうき星には……」は、星空を魔女が飛んだり、月夜にウサギが飛び跳ねて遊ぶメルヘンチックな歌。会員は、少女のような純粋な気持ちになつて歌う。

「聴いている人に語りかけるように言葉を大切にして歌ってみましょう」と、会員に声を掛けるのは、辻正行・日本合唱指揮者協会理事長。ピアノの浅利圭子さんが前奏を始めると、会員の体が左右に揺れ胸を張る。ソプラノの会員が楽譜から目を離し視線を上げて

歌う。左手で調子をとりながら歌うアルトの会員。各人が歌詞から思い思いの情景を膨らませる。辻さんが「歌っているみなさん

歌は心のおしゃれ
詞の情景膨らませ



は、生き生きしていておしゃれ。間奏のピアノのとき、楽しい夢をみた感じで」とアドバイス。繰り返し歌ううちに、各パートの会員、指揮者、伴奏者の心が一つになつて透きとおったハーモニーが響く。会員の励みは、辻さんが指導する東京や神奈川の混声合唱団や青少年少女合唱団、女声合唱団など十数グループが「共演」する演奏会

への参加。「各合唱団が演奏会を重ねることに向上する」こともあって、同会は「合唱の基本は発声」と月一回、望月あさ子さんのボイストレーニングを欠かさない。同会の発足は二十五年前。多摩市民館の成人学校受講者の有志と三田団地で合唱を楽しむ住民が集まりスタートした。

村瀬恭子さん(62)は「コーラスの日は、スカッとした気持ちで一日を過ごせます」とにっこり。入団して間がない土屋ちはるさん(39)は「詩の意味が少しずつ心に入り、楽しんで歌えるようになってきました」と話す。

同ホールオーナーでもある井上智子さん(70)は「木曜は合唱好きな仲間と歌えて楽しみです」。穴水まりさん(58)は「合唱は生きがい。健康を維持して長く歌いつづきたい」と笑顔。

丹野代表は「みんなで声を合わせ、ハーモニーをつくるのは楽しいです。気軽に足を運んで下さい」と入会を呼び掛ける。

代表宅は ☎ FAX (952) 0881。

文 / 小誌・山本綾子
カメラ / 小誌・菅原純子

仲間と楽しむ

学び

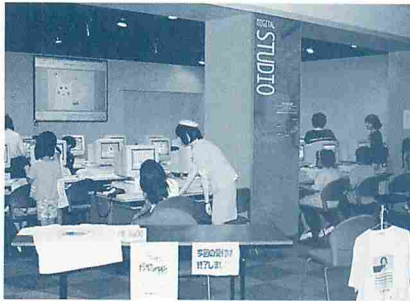
活動する

生かす生かす。

学習・文化情報

探していた講座がある

講座・講演



①わくわく実験教室②やさしい先端技術講座◆東

「パソコン教室①Windows 95②Word 97③Excel 97◆東芝科学館」毎月①第1火曜②第2回③第3回。いずれも10時から。対象は①初心者②③初心者講座受講者。各20人。受講料は千〜千5百円。事前に申し込む。写真①新装のデジタル工房での講習。☎(549) 2200。川崎駅からバス。

芝科学館」①は11月14日(土)10時と13時、「数の世界へようこそ」。太古の数字から現代のデジタルまでを。事前に申し込む②は11月28日(土)13時半。テーマは「21世紀を支えるエネルギー、環境技術」。当日先着。いずれも無料。各250人。☎(549) 2200。

「就職のためのビジネスマナー講座◆市教育文化会館」11月21日(土)10時から。対象は女性。講師は堀内真弓・社員教育会社講師。千8百円。先着25人。申し込みは☎(277) 7045の天野さん。F・Dサークルマナーの会主催。

「公開講座〜子どもと家族◆市立看護短大」11月28日(土)12時45分から「子どもと家族をとりまく状況」。講師は中久喜町子さん▽14時50分から「小児看護における子どもと家族」。講師は西野郁子さん。無料。先着3百人。申し込みは11月20日(金)までにはがきに住所、

市外局番のないものは044

氏名、☎を記し幸区小倉154-1の1、同大同講講座係。☎(587) 3502。

「簿記1級◆中小企業・婦人会館」12月7日〜来年2月18日の毎週月、木曜18時(例外あり)の全22回。講師は原久資・中小企業指導士。受講料は検定料込み約4万円。先着50人。申し込みは11月16日(月)から☎(422) 25055の同館。

「講習会①秋の庭木の剪定②春の七草の鉢作り③正月の寄せ植え◆市緑化センター」①は11月25日(水)②は12月2日(水)③は12月10日(水)いずれも13時半から。各30人(抽選)。受講料は①無料②7百円③4千5百円。申し込みは①11月16日(月)②20日(金)③30日(月)までに往復はがき(1人1枚)に講習会名、住所、氏名、☎を記し〒214-0002多摩区宿河原6の14の1、同所。☎(911) 2177。

「①かなに親しむ②縄文の旅◆玉川大学」①は11月12日〜来年2月25日の木曜13時半から、全12回。講師は久保田美由紀・読売書法展評議員。2万円。20人②は11月12日(木)と19日(木)18時は講義。14日(土)〜15日(日)は井戸尻遺跡ほかを見学。戸田哲也・同大講師が解説。宿泊費込み3万4千円。30人。申し込みは☎0427(39) 8895の同大継続学習センター。玉川学園前駅下車。

「あがらない話し方◆登戸ドレスメーカー学院」11月10日(火)10時から。講師は澤田啓子さん。受講料千円。先着15人。申し込みは午前中に☎(911) 2221の同院。向ヶ丘遊園駅下車。「赤穂浪士と江戸近郊農村〜下平間村を中心に◆市教育文化会館」12月6日(日)13時半から。講師は村上直・法政大名誉教授。5百円。45人(抽選)。申し込みは11月24日(火)までに往復はがきに住所、氏名、年齢、☎を記し〒210-0000

4川崎区宮本町6、市教委文化財課忠臣蔵担当。☎(200) 33006。

「わたしたちのテスト教室◆市消費者行政センター」11月18日(水)20日(金)25日(水)27日(金)いずれも10時から。牛乳パックで手すきハガキを作る。無料。各回先着10人。申し込みは11月2日(月)9時から☎(200) 2263の同所。

①かしこい消費者講座②みんなの消費生活展◆市中小企業・婦人会館」①は11月14日(土)10時から「狙われている?あなたの個人情報」をテーマに清水洋・弁護士が話す。無料。先着80人。申し込みは11月2日(月)9時から☎(200) 2262の市消費者行政センター②は11月13日(金)〜16日(月)10時〜18時半。リサイクル作品展示。手すきはがき体験コーナーあり。☎(200) 2262。

「成人学校〜ソフトエネルギーの世界◆多摩市民館」

学習・文化情報

学習・文化情報

参加したい催しがある

11月7日～12月5日の毎週土曜14時から、全5回。環境にやさしいエネルギーを考える。講師は牛島泉・足利工業大学教授ほか。2千円。申し込みは ☎(935)3333の同館。

〔映画監督 今村昌平氏をお迎えして〕◆中村正義の美術館「11月21日(土)16時半。正義とのかかわりや新作「カンゾー先生」を語る。千500円(入館料込み)。先着70人。申し込みは ☎(953)4936の同館。
 ・モザイク講座◆市民ミユ

催し



「シンポジウム」知って選んで育てよう。あなたが主役 介護保険 ◆エポックなかはら」11月28日(土)13時。パネリストは森口きよ子・かわさき訪問看護ステーション所長、金山郁子・市ホームヘルパー介護福祉士会会長ほか。無料。先着180人。事前予約。保育あり(2歳以上)。申し込みは

「ジウム」①は11月21日、12月19日(一部を除く)の毎週土曜14時、全4回。手鑑の鑑賞方法や歴史的背景を古谷稔・東京国立博物館美術課長が解説。2千円。40人(抽選)②は12月4日～来年3月19日の第1・3金曜13時半、全8回。木片をはり合わせ絵画風の小品を。受講料6千円、教材費5千円。15人(抽選)。申し込みは①11月5日(木)②17日(火)までに往復はがきに住所、氏名、☎、講座名、返信部分にあて名を記して211100052中原区等

みは ☎(233)7351内線212、泉川崎地区行政センター県民課。

「1星を見るタベ」②天体写真撮影会③生田緑地ミニ観察会◆市青少年科学館」①は11月7日(土)28日(土)12月5日(土)17時半。月、木星を観望。曇り、雨はプラネタリウム②は12月6日(日)17時半。木星を撮影。曇り、雨は中止。持参品あり。小学生5年以上先着14人(小学生は要保護者)③は11月8日

々力1の2、同館各講座係。☎(754)4500。
 「パソコン研修◆市産業振興会館」11月に開く初心者経験者、中高年向けの17講座の受講者募集。受講料は1～4万円。詳しくは ☎(548)4119の市産業振興財団情報開発課。
 「木の葉でつくる秋のリース◆エポックなかはら他」11月7日(土)17日(火)10時半。各先着15人。材料費各1050円。申し込みはフラワードesign花の会の内田さん。☎(866)0868。

(日)はシタマ15日(日)は雑木林マ12月6日(日)は植物を。10時に同館入口集合。小雨決行。いずれも無料。申し込みは①③当日直接②は11月10日(火)から ☎(922)4731の同館。

「自然観察会①コケに親しむ②冬の水鳥◆生田緑地他」①は11月29日(日)と来年1月24日(日)の全2回。13時半に青少年科学館前集合。生田緑地でコケを採取。小雨決行②は12月13日(日)9時、

JR南武線南多摩駅改札口集合。多摩川周辺の鳥を。雨天中止。いずれも無料。対象は小学生以上。先着20人。申し込みは①11月6日(金)②11月13日(金)から ☎(922)4731の同館。
 「講演会①昔ばなしとは何か②こどもたちと創る居場所◆平こども文化センター」①は11月13日(金)10時。小澤俊夫・白百合女子大教授が昔ばなしの魅力②は12月4日(金)10時。フリースペースたまりば主宰の西野博之さんが子供とのかかわりを。各千円。保育は300円(3歳以上)。当日直接問い合わせ ☎(865)8056の堀内さん。

「①煎茶道1日体験教室②ダンスパーティー③クリスマス・リース1日講座◆川崎市民プラザ」①は11月12日(木)10時と13時。各回先着30人。千円②は12月5日(土)18時半。出演は横浜J&Kオーケストラ。先着2百人。前売り千800円③は12月7日(日)10時と13時半。各回先着25人。2千500円。申し込みは①受講料を添えて11

月8日(日)まで②③は11月16日(日)からプラザフロント。☎(888)3131。
 「こども秋まつり◆県立青少年センター」11月3日(祝)10時～15時半。子供民俗芸能の発表や人形劇の公演、パズル遊びなど。無料。詳細は045(241)3131の同センター。

「北身館フェスティバル◆市北部身体障害者福祉会館」11月28日(土)10時半～14時半。バザーや模擬店、手話とリハビリの体験コーナー。雨天決行。バザー品の寄付は21日(土)まで。☎(811)6631の同館。
 「外国人のための法律相談会◆市国際交流センター」11月14日(土)13時～16時。弁護士が相談に応じる。英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語の通訳が対応。申し込みは11月5日(木)までに ☎・FAX直接来所、または郵送。〒211-0033 中原区木月祇園町237の1、国際交流協会。詳細は ☎(435)7000。

「市民天体観望会◆川崎

学習・文化情報

ききたいステージがある



授産学園」11月21日(土)18時半から、月・土星を。雨天はスライド。無料。当日直接。小学生以下は要保護者。
 ☎(954) 5011。新百合ヶ丘駅からバス。
 「シネマテーク」自由という地平◆市民ミュージアム」日本の1960年代以降の劇映画とドキュメンタリーを上映。11月7日(土)①人間蒸発③東京戦争戦後秘話▽8日(日)①三里塚・第二砦の人々③告白的女優論▽14日(土)①午前中の時間割り②田園に死す▽15日(日)①極私的エロス・恋歌1974②ある映画監督の生涯Ⅱ写真▽21日(土)①初国知所之天皇③水俣の凶・物語▽22日

(日)①虹をかける子どもたち②転校生。上映開始は①13時半②16時③16時半。各回先着270人。料金は一般500円、小中学生300円。問い合わせは☎(754) 4500の同館。

「中身館フェスティバル◆市中部身体障害者福祉会館」11月15日(日)10時。バザー、模擬店、パントマイム

ステージ

「劇団川崎演劇塾20周年記念公演」十一月びきのネコ

◆多摩市民館」12月5日(土)14時と18時半▽6日(日)14時。井上ひさし作の冒険ミュージカル。前売り券は大人2千円、小学生以下千円マけ

いこ助手、舞台製作ほかのスタッフ募集。問い合わせは☎(541) 4360の熊谷さん。

「麻生フィル定期演奏会◆麻生市民館」11月8日(日)14時半開演。マーラー「交響曲第五番」マシユールベルト「ロザムンデ序曲」。指揮は和田朋樹さん。全自由

や手話ダンスの発表など。雨天決行。☎(733) 9675。

「創立119年専修大学鳳祭◆同大生田校舎」11月5日(休)13時〜8日(日)16時。仮装行列、ゲーム、コンサート、トークなど多彩な催し。詳しくは☎(900) 7830の同大実行委まで。向ヶ丘遊園駅下車。

席千円。問い合わせは☎(955) 1953の横須賀さん。

「姜建華」二胡の世界◆糞ホール」11月12日(木)19時開演。曲目は坂本龍一「ラスト・エンペラー」のテーマ▽黎錦光「夜来香」ほかⅡ写真。4千円。問い合わせは☎(812) 6090。



「①洗足学園合唱定期演奏会②ナターリア・トゥールーリピアノリサイタル③シ

ンフォニックウインドオーケストラ定期演奏会◆同園前田ホール」①は11月17日(火)18時半開演。池辺晋一郎「六つの子守歌」他②は11月20日(金)18時半開演。プロコフィエフ「ピアノソナタ第七番変ロ長調」他③は11月24日(火)18時半開演。J・バーンス「第二交響曲」他。いずれも千円。問い合わせは☎(856) 2981の同大学演奏部。

「冬のごども劇場◆県立青少年センター」12月20日(日)14時開演。「地球の秘密」坪田愛華物語」。12歳で急逝した少女の生涯をミュージカルに。小学生以上。全指定席大人千200円、高校生以下800円。問い合わせは☎045(241) 3131内線3411の同センター舞台芸術部企画課。

「女声コーラスすずらんコンサート◆サカモト・ミュージックスクール鷺沼校」11月8日(日)12時と15時半。千円。各120人。事前に申し込む。☎(854) 6581。鷺沼駅下車。「川崎市定期能く宝生流

◆川崎能楽堂」12月5日(土)第一部は14時、寺井良雄の「東北」▽第二部は16時、本間英孝の「熊坂」。各3500円。チケットは11月5日(休)9時から同所。☎(222) 79995。

「98かわさき市民第九コンサート◆市教育文化会館」12月13日(日)15時半開演。指揮は井上喜惟さん。全自由席千円。問い合わせは☎(222) 8821の市文化財団。

「銀河のかなたへのメッセージ◆月島区民センター」11月14日(土)14時開演。宮澤賢治の音楽とお話。丸山朋文さん(小誌「いまを話す」ゲスト)のチェロ演奏▽賢治の教え子、照井謹二郎さんのお話スライド上映。千800円。問い合わせは☎03(3533) 4476の谷口さん。月島駅下車。「あさお合唱フェスタ◆麻生市民館」11月14日(土)16時開演。出演は混声合唱団南生田コーラス、女声合唱団ゆりなど11グループ。無料。問い合わせは☎(988) 8345の宗さん。

学習・文化情報

みたい絵がある

「紅葉寄席◆川崎市民プラザ」11月21日(土)18時開演。三笑亭夢丸ほか。大人2千円。子供5百円。5百人。
 ☎(888)3131。
 「おはなしグループ沙羅」第1回公演◆パークシティ

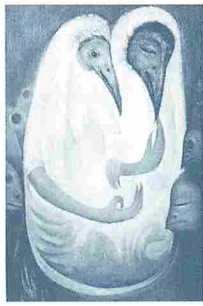


演。即興演奏②は12月1日(火)19時開演。ムソルグスキ「展覧会の絵」他。各2千円。各3百人。申し込みは11月10日(火)9時半から☎(754)4500。



「ビーゼンドルフアール」聴く①山下洋輔(写真男)ジャズソロコンサート②小川典子(写真女)クラシックソロ同◆市民ミュージアム①は11月28日(土)19時開演。即興演奏②は12月1日(火)19時開演。ムソルグスキ「展覧会の絵」他。各2千円。各3百人。申し込みは11月10日(火)9時半から☎(754)4500。

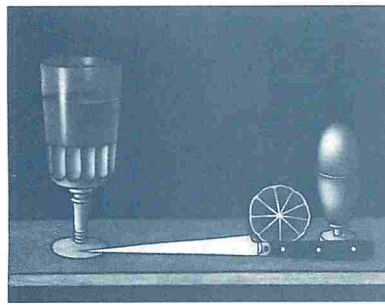
一般5百円、学生3百円、小中生2百円。☎(953)4936。読売ランド前駅下車。
 「スナック喫茶琴」11月28日(土)まで、松下千恵子・中水美枝子の押し花。☎(544)0507。鹿島田駅下車。
 「会館とどろき」11月2日(月)〜9日(月)、退職教職員作品展〜書道・園芸▽11月



「中村正義の美術館」11月8日(日)まで、中村正義と从展・大島哲以▽11月14日(土)から、同展・山下菊二。写真は山下の「万里路」。

ギャラリー

「網島」11月29日(日)11時と14時。「田植え地蔵」他。大人千円、小学生以下5百円。問い合わせは☎045(543)5063の渡邊さん。網島駅下車。話芸写真主催。



「画廊ランプ屋」11月8日(日)まで「木の版の表現」。川上澄生、山中現ほかの木版画▽11月12日(木)〜22日(日)「銅の版の表現」。マリオ・アバティ「半分のレモンのある静物」II写真、浜口陽三ほかの作品。神奈川アートフェスティバル参加。

9日(月)〜16日(月)、同展〜短歌・俳句・生け花▽11月16日(月)〜23日(祝)、同展〜絵画・彫塑▽11月24日(火)〜12月7日(月)、市立中学級新聞コンクール入賞作品展。☎(733)3333。
 「ギャラリー幸」11月6日(金)〜18日(水)、山の展▽11月20日(金)〜30日(月)、版画5人展。☎(555)8181。川崎駅西口下車。
 「アートホール新町」11月1日(日)〜14日(土)、渡田新町の児童の絵画▽11月15日(日)〜30日(月)、和衣「写真展」。☎(344)6444。川崎新町駅下車。

生活ホーム支援
 チャリティーコンサート

11月27日(金) 19時開演

高津市民館 全自由席 3,000円

〈出演〉吉岡孝悦パーカッションアンサンブル
 〈曲目〉オッフエンバック「天国と地獄」
 ブラームス「ハンガリア舞曲第5番」ほか
 〈問い合わせ〉鷺沼ミュージックセンター

☎(855)0111

◆主催 宮前区の精神保健と福祉を考える会ほか ◇後援 市教委/当事業団ほか



吉岡孝悦

☎(945)4416。稲田堤駅下車。
 「アートホール新町」11月1日(日)〜14日(土)、渡田新町の児童の絵画▽11月15日(日)〜30日(月)、和衣「写真展」。☎(344)6444。川崎新町駅下車。
 「市民ミュージアム」11月15日(日)まで、ミュージアムコレクション展I〜メディアと大衆。ポスター、写真ほか▽11月21日(土)から、同展II〜博物館の眼。久本山古墳出土の人物埴輪ほか▽12月26日(土)まで、川崎物語。昭和30〜50年代の川崎の風景やくらしの写真▽12

月20日(日)まで、19世紀ポスター名品展。ロートレック、シエラほか。一般3百円、小〜大学生百円。☎(754)4500。

スポーツ

「バレーボール1日講習会◆幸スポーツセンター」11月28日(土)9時〜15時半。中学生以上40人(先着順)。無料。申し込みは11月6日(金)9時半から☎(555)3011。

「社交ダンス特別講習会◆川崎市民プラザ」12月5日(土)13時〜16時。ジルバ、ワルツ、ブルースの基本と応用。受講料2千5百円。男女各25人(先着順)。申し込みは11月16日(月)から☎(888)3131の同所。
「テニス教室①初級②中級◆市等々力テニスコート」11月20日〜来年2月12日毎週金曜①10時②12時。各全10回。受講料8千円、教材費2千円。各16人(抽選)。申し込みは11月6日(金)までに往復はがき(1人1枚)に住所、氏名、年齢、

☎、希望コースを記して〒1110064中原区今井南町514の1、市生涯学習振興事業団スポーツ事業室。☎(733)5572。

会員募集

●思い出わらば絵創作会
《石川創与香代表》月1回午後、麻生市民館ほか。11月は27日(金)13時半から市民館で。童謡を歌い、心に浮かんだことを絵にします。対象は幼児から成人まで。会費1回千円。入会金なし。連絡は☎0427(35)4607の同代表。(FAXなし)。



ミニニュース

編集室にひよっこり
日本フィルの木野さん
ステージ・アップの編集室に、9月下旬のある日、日本フィルのコンサートマスター、木野雅之さんがひよっこり訪れた。「みやまえロビーコンサート」をコーディネート、小誌「いまを話す」のゲスト、河合由

里子さんが一緒。
日本フィルの代表メンバーは10月3日、野川小(宮前区)で「虹色の音楽会」を開いたが、この日は河合さん宅でその打ち合わせの帰り。
離島を含む全国各地での日本フィルの演奏活動は、会場にこだわらないで学校の体育館でも演奏している。聴衆との触れ合いや地域の人々との交流を大切にするのは、日本フィルの演奏スタンスだ。

編集スタッフに「人と自然を結びつけるものが音楽」「これからも市民企画に協力したい」とさりと話す木野さんは、とても気さくで温かく、相手をなごませる(一)。

◆訂正 10月号13ページ1段目、学習文化情報「催し」欄「史跡見学〜中世の地藏信仰の遺跡を訪ねて」の講師の「伊藤順」さんを「伊藤潤」さんに訂正します。

◆お知らせ 来年の新春号の発行日は1月8日(金)になります。

編集後記

対論しませんか

中央教育審議会の専門委員といういかめしい肩書を見ただけで、今号「いまを話す」を読む

ことをためらわないでほしい▼佐保田巨正さんの話は、メチャおもしろく、思わず「なるほど」とうなるはず▼自分のことを「不良ママ」「失格パパ」と思っている方、ぜひ読んでください▼また、自分自身のことを○○先生と児童・生徒の前でいう教師の方々の率直な意見を聞きたい▼佐保田さん自身が「異論反論歓迎」という▼青年時代、熱血先生だった高橋清・川崎市長は、子供と格闘するような日々だったという▼現場教師VS中教審専門委員の対論があっという間▼事実と道理に基づいた発言の応酬によって「尊敬、感謝する心をもつ人間らしい育ち」や「仕事に使命感をもつ人間」の道筋が明確になるだろう▼ところで、私の母が痴呆

症で特別養護老人ホームに入居していることを九月号で記したところ、数人の方から励ましのお電話やおはがきをいただき、恐縮している▼数年前、同じことを書いていたら、恐らく「年老いた親を施設に預ける不孝者」とのしられた、と思う▼いま、四十歳以上の人の約六五%が「老後が不安」としている(外資系生命保険会社調べ)▼この数字は、六年前に比べ二〇ポイント増▼国は、年金の支給開始時期をさらに遅らせるか、減額するか検討中とか▼また「高齢者の入院期間をいっそう短縮させる動きがある」と嘆く病院長▼老後に備えての定期預金の利子は限りなくゼロに近い▼このような状況で「老後は悠々自適の生活」と胸を張れるのはごく少数の人だろつ▼課長で年収一千二百万円、退職金三千万円の日銀マンや、兵器を高価格で購入し、その見返りに民間に天下りした元防衛庁キャリア組に庶民の不安がわかるのか(田)。

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話044(952)5000代

FAX 044(952)1350

〒215-0004 川崎市麻生区万福寺一の二の二、新百合21ビル
編集人・田中 園